

科目	単位	時間	履修学年	講師名
看護管理	1	30	3	
ねらい	チーム医療の中で多職種との連携や看護職としてのリーダーシップ・メンバーシップの必要性について理解し、看護活動を円滑に行うために看護をマネジメントするための基礎的知識を学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 医療、看護の動向	講義		
2回目	2. 看護職のキャリアマネジメント 1) 新人看護職員の臨床実践能力の向上 2) タイムマネジメント・ストレスマネジメント	講義		
3回目	3. 情報のマネジメント 1) 医療現場の情報リテラシーと実習	講義		
4回目	4. 看護とマネジメント 1) 看護管理とは 2) マネジメントとは	講義		
5回目	5. 看護ケアのマネジメント 1) 看護職の機能 2) 患者の権利の尊重	講義		
6回目	3) 安全管理	講義		
7回目	4) チーム医療	講義		
8回目	5) 看護業務の実践（日常業務のマネジメント）	講義		
9回目	6. 看護サービスのマネジメント 1) 組織としての看護サービス 2) 組織としての目的を達成するために 3) 看護ケア提供システム	講義		
10回目	4) 人材のマネジメント・労働環境	講義		
11回目	5) 施設・設備環境・物品のマネジメント	講義		
12回目	6) リスクマネジメント 7) サービスの質の評価	講義		
13回目	7. マネジメントに必要な知識と技術 1) リーダーシップ 2) 組織の調整	講義		
14回目	8. 看護を取り巻く諸制度	講義		
14.5回目 (45分)	9. 看護政策と制度	講義		
15回目 (45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践① 看護管理 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 【45分間】: 100点)			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
災害医療と国際協力	1	30	3	
ねらい	災害と災害時の救護活動について理解し、救護活動にチームの一員として参加できる知識を学ぶ。 国際協力に関する知識を深め、世界中の人々の健康を守るための経済活動・看護活動について学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	【災害医療】：16時間 1. 災害看護紹介	講義		
2回目	2. 災害サイクルと種類	GW		
3回目	3. TTT	講義・体験		
4回目	4. トリアージ	机上訓練		
5回目	5. CSCA	机上訓練		
6回目	6. 災害看護の対象・地域とのネットワーク	講義		
7回目	7. 災害時における看護の役割と活動	GW		
8回目	8. 発表	発表		
1回目	【国際協力】：13時間 1. 国内における国際看護	講義		
2回目	2. 国際協力について・協力隊事業	講義		
3回目	3. 海外における国際協力医療	講義		
4回目	4. 地域につながる国際看護	講義		
5回目		講義		
6回目		講義		
6.5回目 (45分)		講義		
15回目(45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間【45分間】：100点) : 50点+50点			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
看護の統合と実践	1	30	3	
ねらい	これまで学んだ知識、技術、態度を統合し、状況に合わせて判断した看護実践をおこなうための基礎的能力を養う。			
回数	授業内容			授業方法
1～2 回目	1.看護の統合と実践とは 1) 医療における安全看護業務のマネジメント 2) リアリティショックが起こる場面 2.療養環境の中で発見されるリスクとは 1) 多様な場面での気づきを看護につなげる重要性 2) ベッド周りの安全について観察演習			講義・演習
3～5 回目	3.医療事故が起こりやすい看護技術 1) 点滴静脈内注射の薬剤準備・輸液管理(滴下数の計算・調節) 2) 輸液ポンプ、シリンジポンプで起きやすい事故 3) 人工呼吸器の接続、挿管チューブの仕組みと管理に 4) 酸素ボンベの取り扱いと残量計算 5) 低圧持続吸引機の注意点			講義 GW・演習
6～7 回目	4.多重課題トレーニング演習 1) 複数受け持ちの多様な場面での看護判断 2) 複数受け持ちの優先度を考える 3) 優先順位を考えた行動計画とその根拠			講義 個人ワーク 演習・GW
8～12 回目	5. 事例を用いた模擬患者の状況の状況判断と看護計画 1) 事例紹介 2) アセスメント 3) 看護診断 4) 看護計画立案			
13～14.5 回目 (45分)	6. 医療安全を重視しながらの観察及び個別性に合わせた援助技術の探求 1) 術後で様々なドレーンや持続点滴中の患者の看護(寝衣交換の工夫、移動・移送) 2) 一時的吸引 3) 留置針の挿入と点滴管理 7. 複数受け持ち患者のマネジメント 1) 1日のケアの優先度の決定 2) 気づきの看護とは OSCE (客観的臨床能力試験)			講義・演習 (DVD) 試験
15 回目 (45分)	8.終講試験 筆記試験			
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ (医学書院) 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践② 医療安全 (医学書院) 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践① 看護管理 (医学書院) 医療安全ワークブック (医学書院)			
評価方法	筆記試験：50点(25分) 演習課題：50点			
備考				